

大学共同利用機関法人
主催：自然科学研究機構

プログラムコーディネーター

立花 隆

日本のエネルギーは大丈夫か？

$E=mc^2$ は人類を滅ぼすのか、救うのか…

核融合プラズマ実験装置 (LHD)

第13回自然科学研究機構シンポジウム

平成24年9月29日(土)

10:00~17:00

吹上ホール(メインホール)

名古屋市千種区吹上二丁目6番3号

地下鉄桜通線 吹上駅下車 5番出口から徒歩5分

参加費無料、要事前申込(申込は、裏面のURLからお申込下さい)

NINS
National Institutes of Natural Sciences

自然科学研究機構ホームページ

<http://www.nins.jp/>

※プログラムは、裏面をご覧ください

日本のエネルギーは大丈夫か？

E=mc²は人類を滅ぼすのか、救うのか…

プログラム

導入 10:00～10:20

挨拶 佐藤 勝彦 自然科学研究機構長

趣旨説明 小森 彰夫 自然科学研究機構・理事、核融合科学研究所長

第1部 地球と宇宙とエネルギー 10:20～11:35

1-1 太陽活動と地球環境への影響 (常田 佐久 国立天文台・教授)

1-2 天体のメタンについて (林 正彦 国立天文台長)

1-3 地球温暖化抑制と長期エネルギービジョンについて
(湯原 哲夫 キヤノングローバル戦略研究所・研究主幹)

昼休み 11:35～13:00

第2部 とりうるオプションは？/日本の進むべき未来は？/日本の選択は？ 13:00～14:15

2-1 太陽光発電等の再生可能エネルギーの課題と高効率火力発電の将来
(金子 祥三 東京大学・教授)

2-2 今後の原子力発電に求められる技術的方向性 (山名 元 京都大学・教授)

2-3 長寿命放射性廃棄物の短寿命化技術の現状と展望
(大井川 宏之 日本原子力研究開発機構・研究推進室長)

休憩 14:15～14:25

第3部 核融合エネルギーは答えとなるか？ 14:25～15:40

3-1 核融合エネルギー実用化への道ー1万年続く文明のためにー
(小川 雄一 東京大学・教授)

3-2 国際熱核融合実験炉 (ITER)の現状と展望
(多田 栄介 日本原子力研究開発機構・上級研究主席)

3-3 ヘリカル系核融合炉の現状と展望
(小森 彰夫 自然科学研究機構・理事、核融合科学研究所長)

休憩 15:40～16:00

第4部 パネルディスカッション「日本のエネルギーは大丈夫か？」 16:00～16:55

司会 立花 隆

パネリスト 湯原 哲夫、金子 祥三、山名 元、小川 雄一、小森 彰夫

閉会の挨拶 16:55～17:00

11:35～
9F展望ホールにて、
パネル展示同時開催!

展望ホールに飲食スペースも併設しております
近隣に飲食店が少ない為、お食事はお持ちください
展示スペースについては、事前申込なくご覧いただけます

お申込や最新情報は
自然科学研究機構ホームページから
<http://www.nins.jp/>
携帯からは、こちらをご利用ください
<http://www.qloco-style.co.jp/nins/>

携帯電話用
QRコード



お問合せ先
株式会社クロコスタイル シンポジウム事務局
TEL:03-6456-0093 FAX:03-6808-9946
〒134-0088 東京都江戸川区西葛西6-13-14丸清ビル2階
Mail:nins@qloco-style.co.jp